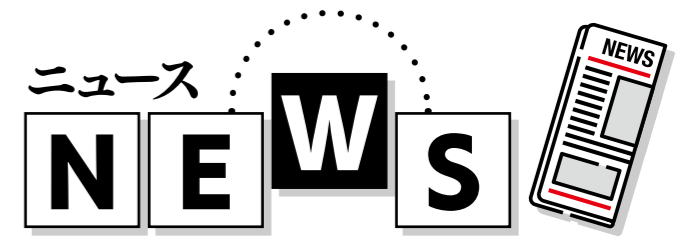


2023年 国東市 10大



2023年は、皆さんにとってどのような1年だったでしょうか。この1年に市内であった出来事を「国東市10大ニュース」としてまとめました。

☎ 政策企画課 広報係 ☎ 72-5008

1	松井督治新市長による新しい国東市政がスタート
2	ホーバークラフト1番船の船名が「Baien」に決定
3	「くにさきわくわく油田プロジェクト」がスタート
4	鶴川商店街周辺観光・交流拠点施設が完成
5	高校生以下の医療費が完全無償化に
6	国東市ふるさと納税8年連続県内1位
7	国東半島宇佐地域世界農業遺産認定10周年・国東半島峯道ロングトレイル開通10周年
8	市内各地のお祭りやイベントが復活
9	国東町小原にお花畑の絶景広がる
10	国東高校が「SPACEコース」の全国公募開始



1位 松井督治新市長による新しい国東市政がスタート

任期満了に伴う国東市長選挙の投開票が2月19日に行われ、元民放アナウンサーの松井督治氏が初当選し、12年ぶりとなる新市長が誕生しました。松井市長は「だれもが明るく楽しく暮らせるまちに！」というビジョンのもと、国東の未来をデザインする5つの政策として「人口減少対策」、「地域産業の活性化」、「安全・安心で活気あるまちづくり」、「子育て・教育環境の充実」、「地域文化の継承と創造」を掲げ、3月4日より市政運営に力を注いでいます。



2位 ホーバークラフト1番船の船名が「Baien」に決定

大分市と大分空港を結ぶホーバークラフトの1番船の船名が、今年度生誕300年を迎えた安岐町出身の江戸時代の学者、三浦梅園の名から「Baien」に決定しました。9月10日に大分空港の「空の日」のイベントに合わせ、一般公開された「Baien」。14年ぶりの雄姿を見ようと県内外から多くの見物客が集まり、期待が高まりました。

3位 「くにさきわくわく油田プロジェクト」がスタート

ご家庭から提供された廃食用油を、市内54箇所に集めて廃棄物処理業者が高純度バイオディーゼル燃料(以下、「BDF」という。)に精製、再資源化する「わくわく油田プロジェクト」がスタート。11月には大分空港内の貨物トラックや公用作業車へBDFを使用する実証実験が開始されるなど再生エネルギーの地域循環が始まりました。



4位 鶴川商店街周辺観光・交流拠点施設が完成

築100年以上の古民家などを改修整備した鶴川商店街周辺観光・交流拠点施設が、4月に完成しました。商店街に観光客や大分空港の利用客を呼び込み、地域活性化を図るための施設で3つのエリアで構成され、テレワーク施設やチャレンジショップ、デジタル交流ギャラリーなどを備えています。なお、10月に正式オープンし、イベントやカフェ、ワークショップに利用されています。



6位 国東市ふるさと納税8年連続県内1位

令和4年度の市のふるさと納税は、寄付金受入額は約21億円、受入件数は約11万件となりました。受入額は8年連続で大分県内1位となり、行政サービスの向上や地域経済の発展に役立っています。カメラや国東産ブランド豚を使った加工品が人気でした。



5位 高校生以下の医療費が完全無償化に

子育て世帯の負担軽減と疾病の早期発見・治療を目的に、市は10月から高校生の通院費の助成を開始し、高校生以下の医療費が完全無償化になりました。これにより、県内トップクラスの助成制度となりました。9月までは未就学児と小中学生は通院・入院・入院時療養費が全て無料で、高校生は通院費のみが対象外でした。



7位 国東半島宇佐地域世界農業遺産認定10周年・国東半島峯道ロングトレイル開通10周年

国東半島宇佐地域が世界農業遺産認定10周年を迎え、認定10周年を記念したシンポジウムでは、農業遺産としての意義や将来の展望などに提言がなされました。また、六郷満山文化に触れながら山道を歩く「国東半島峯道ロングトレイル」も開通10周年を迎え、記念した全国フォーラムが開催されました。



8位 市内各地のお祭りやイベントが復活

新型コロナウイルスの影響で中止や縮小が余儀なくされていたお祭りやイベント。今年度は市内各地でコロナ禍前と同規模のお祭りやイベントが開催され、たくさんの来場者の笑顔と活気でいつもの国東に戻り、にぎわいを取り戻していました。



9位 国東町小原にお花畑の絶景広がる

サイクリングロード沿いの休耕田(国東町小原)に、春はネモフィラと菜の花、秋には約15万本のひまわりが咲きました。これは、休耕田の景観を改善するために、市が景観改善事業として行ったもので、2023年が2年目。絶景を見ようと多くの人が訪れました。



10位 国東高校が「SPACEコース」の全国公募開始

国東高校が2024年度開設の「SPACEコース」の全国公募を開始しました。大分空港が宇宙港となることを見据えて、宇宙産業に携わる人材の育成を図るもので、今年度から宇宙に関するカリキュラムも導入し、国東高校の魅力アップが期待されます。